

県選手権大会に出場するチーム責任者（監督）への通知連絡

1. 会場に到着後、チーム代表者が本部で受付を行い、大会参加料（5,000 円）を支払う。この際、第1試合のコンポジションシートを切って提出（6枚）する。（その後、変更がある場合は、記録席に提出する）。
2. 試合前の「練習時のサポート生徒」は制限しない。プロトコール後フロアには、学校代表・監督・コーチ・マネージャー・登録選手12名とする。それ以外の生徒・関係者は定められた場所で応援・観戦する。
3. 試合前の練習については、直前に試合を行うチームのみフロアでの練習を認める。原則、試合前に「5分間」の練習時間を両チームに許可し、両チームの責任者が相談してコートを使用する（連続試合間は15分とする）。
4. 両チームでの練習後、6分間の公式練習時間を設定する。
5. 開会式・閉会式は実施しない。準決勝・決勝終了後にコートにて表彰を行う。
6. 第1試合の補助役員（ラインジャッジ・点示・記録員）は、各コートの第3試合のチームから9名出して行う。第2試合以降の補助役員は前試合の敗退チームから役員を出し、同様に行うものとする。補助役員は登録選手であるかどうかを問わない。特に記録員については確実にできる生徒を出すものとする。
7. 2日目第1試合の補助役員は各コートの第2試合のチームから9名出して行う。
8. 「給水のためのタイムアウト」をリードチームが8・16点・30-30に達した際に適用する。第3セットは8点でチェンジコートをした後・20-20に「給水のためのタイムアウト」となる。チェンジコートの際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし計時を始める。
9. 試合の際は、監督・コーチ・マネージャーは所定のマークを左胸につけること。外部指導者については大会申込時に「申請書」を提出する。また学校代表（教職員）は、各チームでネームタグを用意し、着用すること。
10. チームスタッフの服装についてハーフパンツ（足が見える服装）やランニングシャツは認めない*学校代表も同様
11. チーム代表者は、送迎用の車や観戦者の駐車により、近隣の事業所や住宅に迷惑をかけることのないようにチーム関係者に喚起すること。路上駐車等は厳に慎むこと。
12. ゴミは持ち帰り、貴重品は各チームで責任をもって管理すること。
13. 落とし物、忘れ物のないように留意する。忘れ物は大会本部で保管し3日間連絡がない場合は処分する。
14. 施設・設備の破損には十分注意する。破損した場合は各チームで責任を持ち、大会本部に連絡すること。
15. チームが責任を持って審判役員として推薦できる成人を、大会役員として派遣すること。
16. 出場チームにはプログラムを2冊配布する。プログラムの注文は原則、事前の注文によるものとするが、当日の販売も若干数行う。（注文した冊数の代金は受付にて支払うこと）。
17. 外部コーチ「承認書」は、大会当日に受付で受け取る。
18. 大会の進行状況によって、試合のコートが空く場合があるが、練習の許可については競技委員長の指示に従うこと。
19. 試合前のコート練習は、審判員・大会役員の許可を受けてからコートに入ること。
20. ユニフォームは、日本中体連競技規則に則って取り扱う。靴下についても同様である。ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）とショーツ（パンツ）を指す。ユニフォームの色及びデザインはチームで統一すること。靴下は同色とし、くるぶしソックスを認めない。
21. 各チームは大会運営に協力し、大会本部の指示に従って行動すること